

【開催報告】2023.9.23(土)16:00-18:00開催

ASP第3回目『メディアを通じて考える現代アートと社会の関係性』／橋爪勇介氏（ウェブ版『美術手帖』編集長）

●アーティストの実践的な学びの場『アーティストスタートアッププログラム』がスタート！

アーティストの成長・交流拠点 Artist Cafe Fukuokaでは、アーティストの方々が実践的に学び次のステップアップにつなげていくためのプログラムとして、『アーティストスタートアッププログラム（ASP）』<https://artistcafe.jp/information/230512/>

をスタートさせました。本プログラムは、全8回の連続講座から構成され、アーティストにとって必要な現代アートの知識やアーティストとしての姿勢、税や契約に関わる部分などを各分野の専門家から学ぶ場となっています。



Artist Startup Program 2023
Artist Cafe Fukuoka

**メディアを通じて考える
現代アートと社会の関係性**
9.23(Sat)16:00-18:00

Guest
橋爪 勇介 Yusuke Hashizume
ウェブ版『美術手帖』編集長

●橋爪勇介氏（ウェブ版『美術手帖』編集長）による

『メディアを通じて考える現代アートと社会の関係性』

ASPのプログラム第3回目は、アーティストが成長していくために必要な自身のマーケティング・ブランディングを考えていくことやメディア戦略についてをテーマとした、『メディアを通じて考える現代アートと社会の関係性』でした。

講師としてお迎えしたのは、Web版美術手帖編集長の橋爪勇介さんです。

橋爪さんは1983年三重県生まれ。立命館大学国際関係学部卒業。

『新美術新聞』（美術年鑑社）に記者として従事したのち、2016年に美術出版社

に入社。

2017年にWeb版「美術手帖」の立ち上げに携わり、副編集長を経て、2019年に編集長に就任されています。



会場であるArtist Cafe Fukuokaのコミュニティスペースでは、現地39名の方が参加され、オンラインは168名の方にご参加いただきました。

橋爪さんからは、メディアはどのようなアートニュースを意識して発信している／したいか、どのようにアートの情報を収集・整理しているか、メディアから見てどのようなアクションをしているアーティストに注目するか、アーティストの成長をどのように追っているのか等、幅広くお話いただきました。

その中でも、アーティストがメディアへのアプローチをする場合は、『誰』を通してメディアに情報を通す方がいいかを考えた方がいい、メディアは信頼度・プレスリリースなどでの情報の正確さ・情報量を元に記事を制作しているので、基本情報をしっかりプロ（PR会社やギャラリー・キュレーター）に抑えてもらったうえで、発信することが大事になる、といったお話をいただきました。

その他、キーワードとして下記が挙げられました。

- 情報はSNSでキャッチアップ（Artnet/artnewspaper）
- 「問題意識」と「好奇心」がメディアを面白くする
- 「速いインターネット」と「遅いインターネット」（時事的なものと同ストック型の深堀コンテンツの両方がWebメディアでは重要）
- **交流会_長野櫻子さんの作品紹介と講評**



橋爪さんの講義後は現在、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)在籍され、anno lab所属のアーティスト長野櫻子さんのインスタレーション作品を

長野櫻子さん<http://sakurako-m.com/>ご自身からご紹介いただき、橋爪さんから講評をいただきました。

アーティストカフェの壁面スペースには現在、長野櫻子さんのインスタレーション作品「Artist Cafe Fukuokaのための11の視点」を展示しております。

アーティストカフェ内に11個の視点から切り取った、アニメーション映像作品がございますので、ぜひ会場に足を運んでいただき作品を堪能してみてください。

長野さんからは、このシリーズを制作した経緯や作品の制作意図・見どころなどについて、丁寧にご紹介していただきました。

橋爪さんからは、アニメーション作品の微妙なゆらぎが、動きをメインとするアニメーションとはまた異なり、長野さん自身の独特の視点を表していることの面白さや、長野さんの制作にあたっての研究方法や、画面の独特な切り取り方についてなど、具体的な講評をいただきました。

今回交流会のお時間はあまりとれなかったのですが、橋爪さんに名刺交換を希望される方が長蛇の列をなしていたり、会場で長野さんのモニターを探したりなど思い思いのひと時を過ごされていました。ご参加いただきました皆さま本当に有難うございました！！

本プログラムをお申込みいただいた方には、2024年3月末まで、講義部分のアーカイブ視聴をご用意しておりますので、是非ご利用ください。

アーティストスタートアッププログラムの第4回は、**10月21日(土)14:00-16:00**

公認会計士/税理士Arts and Law理事でいらっしゃる、山内真理さんによる『アーティストとして知っておきたい税の話①インボイス制度編』です。

4回目からのご参加も可能です。

多くの方にこの機会を活用し、アーティストとしての次のステップにつなげていただけたらと思っています。

申し込みはこちらから▶ <https://forms.gle/BSUormZVZbCSW5fQ8>





長野櫻子 (@sakurako_nagano)

北九州市生まれ、福岡市在住。2016年広島市立大学芸術学研究科造形芸術専攻修了。

現在、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)在籍。anno lab所属。動きを創造することや動きに興味を持ち、短編アニメーションや、アニメーションを用いたインスタレーション作品を制作している。

2022年福岡アジア美術館レジデンスプログラムに招聘。

令和5年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業 採択。

【主な上映】

2023 ひろしまアニメーションシーズン2022 / アーステールプラザ(広島)

2017 tricky woman 2017(ドイツ)

2016 新千歳空港国際アニメーション映画祭 (北海道)

【近年の主な展示】

2023「福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス成果展」福岡アジア美術館他(福岡)

三谷温泉アートプロジェクト「ととのう温泉美術館」平野屋旅館他(愛知)

2022「あなたが誰で、どんなに孤独だろうとも」(福岡・EUREKA)

2019「対馬アートファンタジア 2019」対馬アートセンター他(長崎)

2018「アジアデジタルアートアワード受賞者展」福岡アジア美術館(福岡)



橋爪勇介氏

Web版『美術手帖』編集長

1983年三重県生まれ。立命館大学国際関係学部卒業。

『新美術新聞』（美術年鑑社）に記者として従事したのち、2016年に美術出版社に入社。

2017年にWeb版「美術手帖」の立ち上げに携わり、副編集長を経て、2019年に編集長に就任。



山内真理氏

公認会計士／税理士

公認会計士山内真理事務所／株式会社THNKアドバイザー代表（<https://yamauchicpa.jp>）

GMOペパボ株式会社 社外取締役／文化庁文化審議会文化経済部会 基盤・制度ワーキンググループ 専門委員／一般財団法人さいとう・たかを劇画文化財団 評議員／Arts and Law 理事／東京芸術祭 監事ほか